



# 西部センターだより 2号

H29. 2. 24

## 「自発性の原理」

30年以上前、私が高校に勤めていた時に会ったS先生の話です。私と同じ校務分掌の部長をされ、隣の席だったS先生は、化学の先生でした。教員として発展途上(?)にいた私は、S先生の何気ない言葉掛けや仕事に対する姿勢から実に多くのことを学びました。教員研修の意味で言えば、さしずめOJT(働きながら研修を積むこと)をしていたのかなと思います。教員は、子どもを教えることが本分です。そのためにS先生は、毎晩遅くまで教材研究や実験準備に時間をかけ授業に臨まれていました。部活動の指導も同じです。「昨晚も疲れた、ふー」が口癖でした。一方では、どんなに忙しくても笑顔を絶やさず気さくに話をされる人柄でした。

S先生のこうした情熱は、いったいどこからくるのか最初は不思議でなりませんでしたが、けれども、先生との何気ない会話や仕事の様子を観察するうちに合点がいくようになりました。枕元には常に2冊の本と筆記用具を置き、就寝前の読書を日課にされていました。週末になると片道2時間以上をかけて、広島市内の書店(当時は紀伊國屋書店と丸善がありました)まで車を走らせて本を買い求められました。興味の範囲は読書に留まりません。カメラは自分で現像、焼きつけ引きのばしまでこなされます。バラ栽培の話になると専門的な事柄にまで話が及び、話の種が尽きることはありません。何事にも興味があれば、納得いくまで極めたいというS先生のお人柄が感じられました。これなんだと思いました。情熱の正体は、本人の「学ぶこと」への飽くなき興味関心なのです。

さて、子どもに教える上で大切なポイントがいくつかあります。あえて教育用語を使えば、教育指導(学習指導)の原理です。その一つに「自発性の原理」があります。人間は、興味や好奇心があると自ら進んで学ぼうとする意欲が湧きます。教員には、子どもに対してそうした学習への自発性を引き出す指導が欠かせません。そして、教員自身も学びへの興味や好奇心を絶えず持たなければ教員失格かもしれません。それを率先垂範されていたのがこのS先生だと思えます。

寒い戸外から屋内に目を転じれば、真剣に勉強される受講者の皆さんがいます。長期にわたる「社会教育主事講習B」が終盤に入っています。熱心に皆さんが学習されているのは、この「自発性の原理」が働いているからだと言えます。社会教育への興味関心や意欲を漲らせている姿に敬意を表します。皆さん全員が晴れて資格を取得され、ご自分の地域や島根の社会教育を盛り立てる心強い人財としてご活躍されることを心から願っています。

今年は、立て続けに大雪に見舞われました。けれども、この原稿を書いている今は、草木が芽吹き始める『雨水』の頃です。わずかな日差しがあればつつい戸外に出掛け、小さな春を見つけたくなる季節を迎えました。暖かな季節の到来をひたすら待ちわびつつ、ここで筆を置きたいと思えます。

『沈丁の香に 物憂い目ざめ 綻びる』 (田舎の甚六)

所長 狩野正夫





# 今年度の研修・講座をふり返って

対象者別研修

全体研修

|  |  |
|--|--|
| <p><b>市町村社会教育担当者研修</b></p> <p>7/8：あすてらす</p>  | <p>市町村の社会教育を推進するために、市町村社会教育担当者として必要な専門的知識・技能を学ぶ。</p> <p>○説明「本県における学校と地域の連携・協働体制について」 県社会教育課サブリーダー 楨野 吉人 氏</p> <p>○講義「これからの学校と地域の連携・協働のありかたについてー“支援”から“連携・協働”へー」 岡山大学大学院教授 熊谷 慎之輔 氏</p> <p>○演習：「子どもや学校を核にした事業を整理し、今後の方向性を考える」</p>   |
| <p><b>社会教育委員研修</b></p> <p>12/7：大田市民会館</p>  | <p>これからの社会教育の方向性を知り、社会教育委員の役割を再確認する。また、意見交流を通して社会教育活性化のために、自分の立場でどのような動きをすればいいか考える。</p> <p>○講義Ⅰ：「島根県社会教育委員の会（答申）から」 島根県社会教育委員の会会長 有馬 毅一郎 氏</p> <p>○講義Ⅱ：「地方創生に資する社会教育の展開ー社会教育委員の役割を考えるー」 滋賀大学社会教育連携研究センター長 神部 純一 氏</p> <p>○演習・意見交流：「社会教育の活性化のために自分の立場で何ができるか」</p>   |
| <p><b>公民館等職員研修「PDCAサイクルを活かした公民館事業の実践」</b></p> <p>5/25・6/7・6/23・9/15<br/>いわみーる<br/>10/14：少年自然の家</p> | <p>公民館等職員に必要な事業推進のための専門的知識・技能を学ぶ。</p> <p>第1回：「これからの公民館に求められる役割と機能について考える」</p> <p>第2回：「実践から公民館事業を見つめ直す」</p> <p>第3回：「人づくり・まちづくりを意識した公民館事業計画の立案」</p> <p>第4回：「公民館事業の評価と効果的なプレゼンテーション」</p> <p>第5回：「実践発表とふりかえり」</p> <p>○講義：「今、なぜしまねは公民館に光をあてるのか」 県社会教育課グループリーダー 横田 康 氏</p> <p>○実践発表：吉田公民館の取組の実践 益田市立吉田公民館主事 八坂 美恵子 氏<br/>奥田原交流センターの取組の実践 安来市立奥田原交流C主事 糸原 ひとみ 氏</p>    |
| <p><b>第1回コーディネーター研修</b></p> <p>7/15：浜田合庁</p>   | <p>国や県の考え方や方向性、これから求められるコーディネーターの役割について理解を深める。「学校支援」「放課後支援」「家庭教育支援」などの事業間や学校・家庭・地域の効果的な連携・協働を進めるための具体的な動きについて考える。</p> <p>○事業説明：「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」 県社会教育課サブリーダー 楨野 吉人 氏</p> <p>○講義：「家庭・学校・地域の連携・協働の意義とコーディネーターのこれから」 広島経済大学教授 志々田 まなみ 氏</p> <p>○演習・協議：「効果的な連携・協働を進める具体的な動きを考える」</p>   |
| <p><b>『親学プログラム2』対応親学ファシリテーター養成講座</b></p> <p>8/30：いわみーる</p>   | <p>いじめや児童虐待の実態を知り、いじめや児童虐待が発生する要因やそれらを抑制する支援・対応等について、「親学プログラム2」の趣旨・ねらい・内容を理解するとともに、ファシリテーターとして進行する際の配慮事項等を知る。</p> <p>○説明</p> <p>○いじめの正しい理解 浜田教育事務所 指導主事 大達 高弘 氏</p> <p>○児童虐待の正しい理解 益田児童相談所 判定保護課課長 岩本 正義 氏</p> <p>○演習・意見交換</p>    |
| <p><b>親学ファシリテーターブラッシュアップ研修</b></p> <p>7/26：いわみーる</p>   | <p>「親学プログラム2」のファシリテート体験等を通して親学ファシリテーターとしてのスキルを高める。親学ファシリテーター相互の交流とネットワークづくりを図る。</p> <p>○アイスブレイク体験 ○ファシリテート体験 ○井戸端会議 2つの「親学プログラム」の活用と普及について</p>   |
| <p><b>しまねの社会教育基礎講座</b></p> <p>6/28：いわみーる<br/>6/29：益田合庁</p>   | <p>社会教育の基礎的な考え方や県の社会教育行政の事業等について学ぶ。社会教育関係者の実践を具体的に学び、話し合いを通して、自らの実践への意欲を高める。</p> <p>○講義：「社会教育の役割と県社会教育行政の方針と事業」 浜田教育事務所企画幹 佐々木 伸 氏 / 益田教育事務所企画幹 品川 智成 氏</p> <p>○実践発表：「社会教育実践の実践」 美郷町立比之宮公民館主事 桐場 陽子 氏 / 益田市立美濃公民館主事 椋木 輝美 氏</p> <p>○演習：「これからの方向性と今後自分にできること」</p>   |
| <p><b>つなぐ・つながる実践発表交流会</b></p> <p>11/15・16：サンレイク</p>  | <p>参加者が互いに学び合い、交流を深めることで、実践の意欲を高め、効果的な連携・協働を考える。参加者が自分の活動をふり返り、自分たちの活動の意義や必要性を再確認する。</p> <p>○実践報告：子どもと地域をつなぐ3つの実践</p> <p>①学校でも、放課後でも楽しくまずはやってみよう！ ふるえ子ども広場コーディネーター 大町 由紀子 氏<br/>～湖北中学校区の取組より～ 松江市立湖北中学校養護教諭 庄原 文恵 氏</p> <p>②ゆるやかな つながりの中で 吉賀町立朝倉公民館館長 能美 勝臣 氏<br/>～朝倉地域サクラマスプロジェクト～ 吉賀町立朝倉公民館主事 石村 境子 氏<br/>吉賀町教育委員会主任 江谷 英幸 氏</p> <p>③地域との「連携・協働どんぶり」おいしいよ！ 邑南町立田所公民館主事 三宅 文士 氏<br/>～地域課題解決に、学校・地域が一緒になって～ 邑南町教育委員会課長補佐 大橋 覚 氏</p> <p>○パネルディスカッション：「子どもも大人も育つ連携・協働のあり方を考える」</p> <p>パネリスト 安来市広瀬交流センター主事 喜多川 由紀 氏<br/>雲南市立三刀屋小学校校長 星野 幸雄 氏<br/>吉賀町教育委員会派遣社会教育主事 杉内 直也 氏</p> <p>指導助言者 大分大学 高等教育開発センター教授 岡田 正彦 氏</p> <p>コーディネーター 国立社会教育実践研究センター専門調査員 糸賀 真也 氏</p> <p>○講演：「これからの『しまねの結集！』」 広島経済大学教授 志々田 まなみ 氏</p> |
| <p><b>社会教育主事講習[B]</b></p> <p>西部センターだより 2号 2017年2月24日発行</p>   | <p>社会教育主事の資格付与のための講習です。(講座名：生涯学習概論・社会教育計画・社会教育特講・社会教育演習)</p> <p>発行所 島根県立西部社会教育研修センター<br/>〒697-0016 浜田市野原町1826-1 (いわみーる3階) TEL(0855) 24-9344 FAX(0855) 24-9345<br/>Eメール seibu_shakaikyoiku@pref.shimane.lg.jp ホームページ http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/</p>  |